

若者憲法集会2026・若者憲法集会労組企画

全労連青年部が実行委員会に参加する若者憲法集会実行委員会は、5月31日に都内で若者憲法集会を開催しました。

メイン集会では、教育学者の佐藤学さんを講師に「今、なぜ憲法なのか―戦争の危機と若者の役割」をテーマに学んだあと、4人の青年が憲法への思いや活動を報告。全教青年部の奥田花菜さん、福祉保育労東海地本の越須賀舞さんがスピーチしました。

集会後の銀座デモには、全国各地から2500人が参加しました。

改憲反対！憲法憲法  
今こそいかせ！  
デモに2500人！



## 若者憲法集会開催

2026年5月31日(日)  
有楽町朝日ホール&銀座デモ

DJの石川県医労連の田中さん(左)  
コーラーに初挑戦の京都総評青年部の板井さん(右)

東京地評青年協と共催  
若者憲法集会労働組合企画

“ 憲法は  
「理想」  
だからこそ！ ”

「くらしと憲法を考える」対話の場  
自民党改憲草案から見る私たちの未来―

### 憲法をもっと活かそう 一人ひとりが「不断（普段）の努力」を！

全労連青年部と東京地評青年協は、昨年に引き続き労働組合企画を開催し、41人が参加しました。明日の若手弁護士の会（あすわか）の山内志織先生を講師に、憲法のそもそもについてや、自民党改憲草案（2018年）によって、憲法がどのように変更されてしまうのかを、暮らしや仕事を視点に学習しました。山内先生は、自民党が変えたい「9条」をめぐるこの間の動きについて「平和主義」の在り方を大きく変えると指摘。

「憲法は、理想であることを憲法自らも認めている。理想と現実が食い違っているからこそ、憲法の存在意義がある」と話しました。グラウンドルールの確認やアイスブレイクも取り入れ、心理的安全性に配慮しながらも、グループワークや憲法ビンゴに大盛り上がり。午後のメイン集会への参加を呼びかけました。



司会の国公労連の太田さん(左)  
全印総連の加藤さん(右)



### メイン集会には1000人 会場満員



話を熱心に聞く参加者



佐藤学さんは「戦争は、一部の権力者に莫大な利益をもたらし、最大の被害者は子どもと若者。戦争の芽は逸早く摘発し、危険な兆候を克服する使命がある」と強調。



対話によって解決する平和の原点を保育士の目線からスピーチする越須賀舞さん（福祉保育労東海地本）と一緒に登壇した労働組合の仲間たち。

“ 来年の  
若者憲法集会  
開催日決定！ ”

2027年6月13日(日)  
有楽町朝日ホール